

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
「作業発注書」及び「作業請書」の活用	高	しごと・2年 (工業・流通サー ビス)	谷川佳之

<ねらい>

- 教科間で連携して校内美化営繕作業に取り組む。
- 生徒に仕事の発注、受諾、執行の手順を学ぶ。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

- 流通サービスの清掃の授業で校内の窓及び網戸を清掃・点検し、補修が必要であるか調べる。必要であると、「作業発注書」に作業内容、場所、内容を記入して、工業の生徒に作業発注書を手渡して『発注』する。
- 工業の生徒は作業発注書をもって『受諾』し、営繕修理の授業として網戸の張り替え修理の計画を立てるために「作業発注書」にもとづいて、「作業請書」に担当者を決めて作業を『執行』する。

作業発注書

作業請書



張り替え作業

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- 流通サービスの生徒にとって、清掃・点検することで校内美化がされ、清掃の技術を習得できた。また、補修時の対応についても学ぶことができた。
- 工業の生徒にとって、仕事の発注、受諾、執行の一連の流れを知ることができた。また、網戸張り替えという課題でどんな資材が必要であり、作業手順を知ることができた。また、補修作業を繰り返して行うことにより、生徒の作業能力が向上して速く、上手に作業できるようになった。
- 何より生徒自身が校内の清掃・補修を行い、学校がきれいになること、自分の技能が上手くなることを実感し、先生から褒めてもらったことで自信にもつながった。
- 今まで網戸の張り替えを業者に依頼していた（4枚で10000円程度）が、材料費だけでかなり修理予算を抑えることができた。
- 高等部利用教室を中心に網戸の張り替え（押さえゴムの交換、シールによる補修を含む）を29枚行った。

<その他（材料、費用、購入先等）>

張り替え用の網、ローラー、押さえゴムなど